

日本語学習支援

はじめの一步

基本を知ろう！



八王子にほんごの会 研修部

2019 年度版

日本語学習支援の基礎

1. 学習目的の確認、学習者の把握を行う

それぞれの学習者は来日、滞在の目的が違うのでその Needs にあわせて学習するように心がけてください。

- ・ 日常会話
- ・ 文章読解
- ・ 漢字習得
- ・ 就職
- ・ 受験等

学習者のレベルを把握しましょう。

- ・ 日本語力はどの位なのか（入門・初級・中級・上級）を把握する。
検定試験問題を解いてみるのは効果的です。

2. ひらがな、カタカナの扱い

- ・ ローマ字による学習は効率が良くないので、ひらがなは必須です。
- ・ 漢字に進むためにもカタカナは必要なので覚えるように勧めましょう。

3. 漢字の扱い

①漢字圏の学習者の場合

- ・ 母国語との意味の違いがある。例：手紙 — トイレットペーパー
- ・ 音読みと訓読みが日本語にはある
(中国語は、基本的に読み方は一つで日本語と発音は違っています。)

②非漢字圏の学習者の場合

- ・ 仮名で書かれた部分を漢字で示すと理解しやすい
- ・ 漢字は簡単なパーツから成り立っている字から始める。
- ・ 漢字に対して苦手意識を持たせないように工夫する。……象形文字

例：親 → 立 + 木 + 見る
朝 → + + 日 + + 月
日 → 日

- ・ 『どンドンつながる漢字練習帳』『BASIC KANJI BOOK 基本漢字500』

4. 学習者にとって難しい発音

学習者の母語にない発音は、学習者にとって難しい。

以下は代表的な日本語特有の音です。

音	解 説	例
ようおん 拗 音	小さい「や・ヤ」「ゆ・ユ」「よ・ヨ」で表す音	きやく、ピューマ、とうきょう ぎゅうにゅう、きよか など
はつおん 撥 音	「ん」で表す音	ほん、さんぽ、こんかい、 かんそう、れんあい、ぱん など
そくおん 促 音	小さい「っ・ツ」で表す音	きって、キャップ、かっぱつ がっこう、キップ など
ちょうおん 長 音	長く伸ばす音（表記と発音が違うので注意）	くうこう（くうこお）、ゲーム おとうさん（おとおさん） など

5. 国語文法と日本語文法との違い

日本の学校で習う文法と日本語学習で習う分法は呼称が違ってしています。

（例）未然形 = ない 形

形容詞、形容動詞 = い 形容詞、な 形容詞

6. 学習者に合わせた教材・学習方法の選択や教材の使いかたの工夫をする。

① 入門の教材

例) 「みんなの日本語」→ 多くの学習者が自国での勉強に使用しています。
対応する言語も多く最もポピュラーな教科書です。

「しんにほんごのきそ」

「大地」など

日本語の基礎会話の習得

日本語の基本構造の理解

日本語の基本文法の理解

② 中級の教材

例) 日本語 2nd ステップ（白帝社）

中級から学ぶ日本語（研究社）

日本語中級 II（凡人社）

上級で学ぶ日本語（研究社）など

- ・ 読みを大切に
- ・ 滑らかに読めるように
- ・ 文章の意味を確実に理解できるように
- ・ 用語、慣用句の説明を丁寧に
- ・ 辞書の利用が望ましい

③ 中級以降の教材

- ・ 読解を中心とした教材が多くなる。
- ・ 上級で学ぶ日本語（研究社）

- ・日本語能力試験問題集 N 1 ～ N 5
- ・新完全マスター文法、語彙、読解 N1, N2, N3, N4
- ・新聞 ・チラシ ・防災ガイドブック ・カレンダー ・写真 など。

7. 日本語能力試験について

- ① 国際交流基金と財団法人日本国際教育支援協会が運営している。
- ② 日本語を母語としない人を対象とした試験である。
- ③ 毎年、7月と12月の第一日曜日に実施している。
- ④ レベルは「N1・N2・N3・N4・N5」の5段階に分かれている。
- ⑤ 日本語能力試験の申し込み、受験方法などの詳細は「JLPT」のネットで検索できる。

外国人研修生の目標は N3, 留学生、就職では N2 が Must で N1 が望まれます。
N2 を取るためには、かなりの漢字の習得が必要になります。

《認定の目安》

レベル	内 容
N 1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。
N 2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。
N 3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。 →「みんなの日本語 I・II」終了したレベルに相当する。
N 4	基本的な日本語を理解することができる。
N 5	基本的な日本語をある程度理解することができる。

※日本語能力試験は 2,009 年まで 1 級～4 級、2010 年から N1～N5 になりました。
「N」は「Nihongo (日本語)」、「New (新しい)」を表しています。

《合格点と基準点》

日本語能力試験では、総合得点と各得点区分の二つの得点で合格判定を行う。

- ① 総合得点が合格に必要な点 (合格点) 以上であること。
- ② 各得点区分の得点が、区分ごとに設けられた合格に必要な最低点 (基準点) 以上であることの 2 つが必要である。

レベル	合格点	基準点		
		言語知識 (文字・語彙・文法)	読解	聴解
N 1	100点	19点	19点	19点
N 2	90点	19点	19点	19点
N 3	95点	19点	19点	19点
		言語知識 (文字・語彙・文法)	読解	聴解
N 4	90点	38点	—	19点
N 5	80点	38点	—	19点

みんなの日本語 初級 I・II (一部掲載)

☆ 動詞のフォーム (一部掲載)

	13課	14課	17課	18課	19課	31課
	ます形	て形	ない形	辞書形	た形	意向形
Iグループ	かき—ます いき—ます よみ—ます はこび—ます つくり—ます つかい—ます もち—ますか はなし—ます	かいて いって よんで はこんで つくって つかって もって はなして	かか—ない いか—ない よま—ない はこば—ない つくら—ない つかわ—ない もた—ない はなさ—ない	かく いく よむ はこぶ つくる つかう もつ はなす	かいた いった よんだ はこんだ つくった つかった もった はなした	かこう いこう よもう はこぼう つくろう つかおう もとう はなそう
IIグループ	み—ます たべ—ます	みて たべて	み—ない たべ—ない	みる たべる	みた たべた	みよう たべよう
IIIグループ	し—ます き—ます	して きて	し—ない こ—ない	する くる	した きた	しよう こよう
	—たいです	—ください —います	—ないでくだ さい	—ことができ ます	—ことがあります ます	—とおもって います

※ 学校文法 : 未然、連用、終止、連体、仮定、命令。

日本語文法 : ます形、て形、ない形、辞書形、た形、意向形、命令形、条件形、可能形、受身形、尊敬形、使役形、普通形。

☆ 形容詞の種類と活用 (初出8課、過去形20課)

		い形容詞 (形容詞)		な形容詞 (形容動詞)	
		肯定形	否定形	肯定形	否定形
叙述用法	非過去	さむいです いいです	さむくないです よくないです	静かです	静かじゃありません (では)
	過去	さむかったです よかったです	さむくなかったです よくなかったです	静かでした	静かじゃありませんでした
修飾用法	非過去	さむい (一日) いい (天気)	さむくない～ よくない～	静かな (町)	静かじゃない～
	過去	さむかった (家) よかった (成績)	さむくなかった～ よくなかった～	静かだった (町)	静かじゃなかった～
て形		さむくて よくて	さむくなくて よくなくて	静かで	静かじゃなくて

※ 学校文法でいう形容動詞は、名詞につくときに「な」を伴うことから「な形容詞」と呼ばれる。

例 ; きれい → きれいな、 べんり → べんりな